

1. 企画総務室の体制

2005年度企画総務室は、2004年度に引き続き5名体制（事務スタッフ4名・施設管理スタッフ1名）でスタートした。開院後3年目の2005年度は、将来を見越して、業務分掌を見直し、業務移管を行った。

2. 職員数推移

職 種	2003年 3月末	2004年 3月末	2005年 3月末	2006年 3月末
医師	7	9	12	11
看護師・准看護師	44	54	64	61
看護助手	10	11	13	17
薬剤師	3	4	4	4
臨床検査技師	4	5	5	7
放射線技師	4	4	4	4
理学療法士	2	2	4	7
作業療法士	0	0	2	4
言語聴覚士	0	0	1	1
臨床工学技士	1	1	1	週2回の応援
管理栄養士	2	2	2	2
事務	7	8	11	13
労務	2	2	1	1
計	86	102	124	132

※委託職員除く

3. 組織体制の見直し

2005年10月に、病院組織の一部見直しを行った。その内容については以下の通りである。

- ・役職と資格を区分し、資格中心の組織から役職中心の組織に変更した。それにより、「看護師長」→「病棟長」に、医療技術部、事務部の所属長は「室長」「薬局長」の呼称にした。
- ・地域連携業務・医療相談業務を医事室から分離し、医療相談室を新設した。

4. 人事諸制度

みすみ病院の人事諸制度は熊本病院の制度を用いており、徐々にではあるが、みすみ病院独自の人事諸制度構築に向け準備中である。2005年度は主に以下の制度の整備を行った。

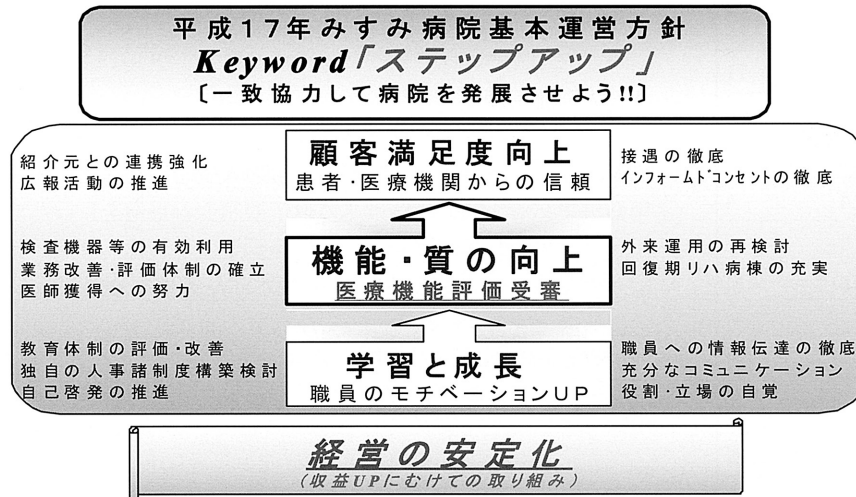
- ・医師の給与制度に着目し、他施設との差別化、評価体制の見直しのためにみすみ病院独自の年俸制を構築し、2006年4月からその制度を施行する予定。
- ・賞与考課において、みすみ病院の実状にあったものとするために、既存の考課内容と配点を見直した。

5. 階層別研修会

研修会名	開催日	対 象	主な内容
新入職員研修会	4月1日(金) 4日(月)	新入職員 (15名)	医療人・済生会職員としての基本的事項を身につけるための研修内容
2年目フォローアップ研修会	10月29日(土)	2年目職員・1年目中途入職職員 (19名)	医療情勢・病院現況の講義 グループ討議
中堅職員研修会	11月19日(土)	3年目以上で役職者以外の中堅職員 (12名)	医療情勢・病院現況・経営管理・リーダーシップの講義 グループ討議
幹部・リーダー研修会	12月10日(土)	幹部・医師・役職者 (28名)	各部署進捗状況報告、医療機能評価説明、次年度行動計画策定、将来構想の検討

6. 2005年度行動計画書作成

2005年度は開院3年目にあたり真価の間われる年度である。そこで、過去に取り組んできた行動にさらに磨きをかけ、成果に結びつけるために、キーワードを「ステップアップ」とした。また、2004年度もバランス・スコアカードをベースにした年度事業計画書を作成した。基本運営方針及び主な取り組みについては以下の図の通りである。



7. 朝 礼

2005年度も2004年度に引き続き、病院の方針・現況、トレンド情報等をタイムリーに伝達するために、委託職員を含めた全職員を対象に、月1回の全体朝礼を実施した。その内容については以下の通りである。

月	全体朝礼内容	担 当
4	2005年度院長講話、個人情報法保護法説明	瀬井院長、山口室長
5	2004年度実績報告	木下事務長
6	医療倫理委員会勉強会（ヘルシンキ宣言・インフォームドコンセント等）	和田薬局長
7	診療部長講話「病院の方針／診療体制」	庄野診療部長
8	2005年度1/4期実績報告	木下事務長
9	診療部長講話「亜急性期と回復期」	庄野診療部長
10	院長講話（上期現況等）、組織改編、宇城市 MRI 脳検診	瀬井院長、山口室長、平山室長
11	2005年度2/4期実績報告	木下事務長
12	診療部長講話「診療方針に関すること」	庄野診療部長
1	院長講話「2006年基本方針」	瀬井院長
2	2005年度3/4期実績報告、2006年度診療報酬改定説明	木下事務長
3	医療機能評価プロジェクト報告「Ver.4受審体験談」	菅原病棟長

8. ホームページ開設

2004年度までは済生会熊本病院のウェブサイト上で、みすみ病院のホームページを公開していたが、2005年4月より、新しいソフトを導入し、みすみ病院独自のホームページを作成・公開した。それにより、最新の情報をタイムリーに院外に公開できるようになり、職員採用に関する情報、院内健康講座に関する情報、院外向け勉強会・研修会に関する情報、病院の診療実績等を掲載し、情報公開を推進するための大きな手段となった。

9. 厨房改修

国立から済生会に譲渡される前後に病院全館の大規模改修を行ったが、まだ手を着けてない場所も幾つか残っている。また、病院の建物も建築してから20数年が経ち、特に設備面での老朽化による不具合が目立つようになってきた。厨房はその一つで、厨房内の温度・湿度の問題、給排気の問題等、汚れの問題等衛生上、良好であるとは言い難く、それらの不具合を解消するために以下の環境整備を約1ヵ月かけて行った。

- ・外気取入口の OA グリル取替工事
- ・窓ガラスへのフィルム貼付工事
- ・出入口への風除室（前室）設置工事
- ・洗浄室扉取り替え（開き戸→引き戸）工事
- ・トイレ付近への手洗い設置工事
- ・床、抗菌シート貼替工事
- ・天井塗装工事